

## 子どもの生活実態調査について

### 1 調査の主旨

「西東京市子育て・子育てワイワイプラン（第三次）」の策定にあたり、包含される「子どもの貧困対策計画」の検討のため、西東京市の子どもや子育て世帯がどのような生活困難を抱え、どのような支援を必要としているか、支援の利用状況や効果を把握することを目的として行うもの。

### 2 対象・発送数・調査方法

- ・西東京市立小学校の小学5年生（約1,700人）とその保護者（約1,700人）、西東京市立中学校の中学2年生（約1,500人）とその保護者（約1,500人）へ無記名アンケートを実施する。
- ・調査期間について、週末を3回含んだ3週間とする。
- ・調査方法について、基本的に紙面の調査票により学校を通して配付・回収するが、調査票にQRコード等を掲載し、Web方式での回答にも対応する。

対象者	発送数	調査方法
(A) 西東京市立小学校の小学5年生	1,700人	基本的に紙面の調査票により学校を通して配付・回収。調査票にQRコード等を掲載し、Web方式での回答にも対応。
(B) (A)の保護者	1,700人	
(C) 西東京市立中学校の中学2年生	1,500人	
(D) (C)の保護者	1,500人	

### 3 子どもの生活実態調査の項目

◎＝子どもの生活実態調査における推奨調査項目、○＝内閣府による調査の設定項目、△その他都道府県による調査の設定項目

西東京市立小学校の小学5年生、西東京市立中学校の中学2年生への質問		
子どもの基本属性に関する項目	性別（男性、女性、わからない・答えたくない）	◎
	身長・体重	△
「健康で文化的な最低限度の生活」及び「子どもの生活の安定」に関する項目	生活への満足度	○
	子どもの生活習慣	○
	生活困難度 食料困窮経験、衣服困窮経験 (内閣府子どもの貧困指標)	◎
「教育の機会均等」の状況を測る項目	子どもの主観的学力	◎
	登校回避感情（学校へ行きたくない、休みたい）、不登校経験、欠席日数	◎
	いじめの被害経験	◎
	いじめの加害経験	△
	子どもの希望する学歴	◎
	子どもの勉強時間	◎
子どもの「心身ともに健やかに育成」の状況を測る項目	子どもの主観的健康度	◎
	子どもの自己肯定感	◎
子どもが「社会との交流の機会」の状況を測る項目	子どもの交友関係	◎
	放課後の居場所	△
	子どもの相談相手	◎
	情報機器の利用状況とインターネット上の交友関係	◎
コロナの影響に関する項目	新型コロナウイルス感染症で変わったこと	○

西東京市立小学校の小学5年生の保護者、西東京市立中学校の中学2年生の保護者への質問		
保護者の基本属性に関する項目	子どもとの関係性（お子さんから見た続柄）	○
	回答者の年齢	○
保護者の世帯に関する項目	生計を共にする家族の人数	○
	家族形態	○
	世帯収入	○
保護者の就労状況・労働環境に関する項目	保護者（母親・父親）の勤務形態	○
	保護者（母親・父親）の勤務時間	○
「子どもの生活の安定」に関する項目	食料困窮経験、衣服困窮経験（内閣府子どもの貧困指標）	◎
	公共料金（電気、ガス、電話、水道）、家賃の滞納経験	◎
	生活困難度	◎
「教育の機会均等」の状況を測る項目	子どもが就学前に通ったことのある保育施設・教育機関	○
	子どもと保護者の希望する学歴	◎
子どもが「心身ともに健やかに育成される」ための条件の状況を測る項目	保護者の抑うつ指標（K6）	◎
	保護者の主観的健康度	◎
	保護者（母親・父親）の被暴力経験（成人となるまでの親からの暴力、ネグレクト等、成人後の（元）配偶者（パートナー）からの暴力）	◎
「貧困の連鎖を断ち切る」ことができているかを把握するための項目	保護者（母親・父親）の最終学歴	○
	保護者（母親・父親）の逆境経験（成人となるまでの親の離婚、死別、貧困経験）	◎
支援制度の利用状況を測る項目	支援制度（子育て支援等に係る施設）の利用状況	○
	支援制度（自立支援等に係る施設）の利用状況	○
	支援制度や施策の情報収集方法	△
保護者の人間関係に関する項目	子どものこと及び自身についての相談相手	△
	母親・父親に代わって子どもの面倒を見てくれる存在の有無	△
	子どもとの家庭での関わりについて	△
コロナの影響に関する項目	新型コロナウイルス以降の生活の変化	○